

2025.4/27(日) タウンミーティング ホワイトボード内容の要点

1. 目的 / 前提

- 公衆衛生＝科学 / 技術：個人ではなく“まちぐるみ”で健康を守る
- 「まちの仕組み」づくり：制度 / 環境 / コミュニティの総合設計で課題を解決

2. 現状課題

- 子どもの貧困 / 孤食 / スクリーンタイム → 生活習慣病 / メンタル不調リスク
- 近所付き合いの希薄化 → 社会的孤立 / 支援の断絶
- 親世代（養育者）の負担増 → 連鎖的に子どもの健康 / 教育機会へ影響
- フレイル / 生活習慣病の前段階 が若年層にも拡大

3. 重要概念 / 理論

- 社会的資本：人と人との“つながり”が健康を決定
- 行動経済学 / ナッジ：強制せず「選びやすい環境」で行動変容
- 社会疫学（イチロー カワチ 等）：不平等と健康格差を可視化
- ロビド効果 / 中動態としての能動：主体性を引き出す枠組み
- フレイル予防：身体 / 精神 / 社会面の早期介入

4. 具体的アプローチ案

- 子ども食堂 / 町内会 / おしゃべり会：共食と交流で孤立防止
- 笑いヨガ / ボランティア健康推進員：気軽な参加で行動変容を促進
- 民生委員 / 地域包括ケア：専門職と住民の橋渡し
- 逆育（高齢者→子どもへ教える） / 共育：世代間交流で双方の自己効力感UP
- 学校教育と連携（岡山県の例）：受容→義務→実践→定着の段階的学習

5. 目指す成果指標

- 健康寿命の延伸（身体 / 精神 / 社会的QOLの維持）
- 社会実装度：施策が定着し自走するコミュニティの割合
- 36000世帯×一人ひとりのアクション：個別→面的拡大

6. 実施上のキーワード

- “強制しない”自由選択（ナッジ設計）
- 可視化・明確化：課題が見える化し住民合意形成
- **安全面（通学路・自転車） / 嗜好行動（喫煙・飲酒・食生活）**の多面的対策
- 地域医療・災害支援との連携ライン構築